

令和8年度までの目標		国語		算数	
		自校A B層の割合	65% (5年度は48.3%)	自校A B層の割合	50% (5年度は37.1%)
目標達成に向けた取組					
3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障		学習習慣の確立	
学校全体の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>■校内研究「児童一人一人が読む力を高めるための指導法の工夫」に重点を置いた授業の質的転換</li> <li>■標準学力調査による学力の客観的データの蓄積と分析を生かした授業改善</li> <li>■各教科での探究的な学習を重視</li> <li>■読書科の更なる充実</li> <li>■教科担任制の推進</li> <li>■各職層に応じた研修会の実施</li> <li>■区小教研、地区研修会、都教職員センター研修等への積極的参加</li> <li>■指導教諭の効果的活用</li> </ul> <p style="text-align: center;">《CD層へのアプローチ》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■校内研究を通じた授業改善（音読や黙読による一人読みをする力の向上と対話による読み広げ・読み深め）</li> <li>■発話中心の外国語学習</li> <li>■スクールカウンセラー、特別支援学級支援員、SSWとの連携を強化し、発達障害児やグレーゾーンに属する児童の理解と個に応じた支援の工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■デジタルドリルの活用</li> <li>■学力向上アクションプランの策定</li> <li>■授業改善学習指導部と研究推進委員会との連携</li> <li>■学習指導部と研究推進委員会との連携</li> <li>■朝学習の充実・系統的指導</li> <li>■自分の思いや考えを、言葉で表現することができるようにする</li> <li>■相手の言いたいことを考えながら、聞くことができるようにする</li> <li>■自分の考えが伝わるように、構成や内容、表現の工夫して、分かりやすい文章を書けるようにする</li> <li>■東京ベーシックドリルやミライシードドリルパーク等を活用して基礎的・基本的事項を復習させる</li> <li>■音読、漢字の読み書き、計算練習について、家庭と連携してくり返し学習し、基礎基本の定着を図る</li> <li>■基本的な計算技能について、東京ベーシック（算数）やミライシードドリルパーク等を活用し、反復練習させて定着を図る</li> <li>■文章問題を数直線図に表し、筋道立てて考えたり自分の考えを説明したりできるようにする</li> <li>■学習者用デジタル教科書を効率的に活用し、個別の理解度を把握し、指導に活かす</li> <li>■タブレット端末を用いた、文章作成および授業での活用</li> </ul> <p style="text-align: center;">《CD層へのアプローチ》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■放課後補習教室の戦略的活用</li> <li>■放課後補習教室との連携強化</li> <li>■読むことが苦手な子への支援（追い読み、交代よみ、なぞり読みなど）</li> <li>■標準学力調査による学力の客観的データの蓄積と分析を生かした苦手問題の克服</li> <li>■南二道場の効果的な活用：個の苦手教科に対応した放課後居残り学習</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■一人1台端末、デジタルドリルの積極的な活用</li> <li>■えどダブルルール等の周知・徹底・「南二小 学習の心得」の徹底</li> <li>■学年に応じたノートの使い方の徹底</li> <li>■学年に応じたタブレットPCの基本操作の定着</li> <li>■休み時間の外遊び</li> <li>■「南二小よい子の一日」や「南二小タブレット・スマホルール」を守ろうとする意識の醸成・啓発</li> <li>■ホームページ、学校・学年便り、保護者会を通じた教育方針の周知徹底</li> <li>【家庭との連携】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・早寝早起き朝ごはんの習慣化</li> <li>・場に応じた挨拶ができるようにする</li> <li>・決まった手伝いができるように家庭に呼びかける</li> <li>・住所や家族連絡先が分かるようにする</li> <li>・先を見通して準備・後始末がしっかりできるようにする</li> <li>・インターネット(SNS等)の使い方を理解できるようにする</li> </ul> </li> </ul> <p style="text-align: center;">《CD層へのアプローチ》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■補習と家庭学習の連携</li> <li>■東京ベーシックドリルの活用</li> <li>■個人面談、連絡帳、電話連絡、対面等による児童理解、保護者理解</li> </ul>	
	特に支援が必要な児童・生徒への手立て	<p>【支援ツール】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○授業支援ソフト</li> <li>○教師の得意分野を生かした研修機会</li> <li>○読書科研修(初級・中級・上級)</li> <li>○教科主任によるOJT研修</li> <li>○教師の短く、端的な分かりやすい発問、指示</li> <li>○エピソードを挿入した具体的な説話</li> </ul>	<p>【支援ツール】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○一人1台タブレット端末のデジタルドリル</li> <li>○英語の力を高める取り組み</li> <li>○えどダブルルール、南二小タブレット・スマホルールの遵守</li> <li>○漢字の読み書きや文法事項等に授業の中で触れる時間を設け、基礎基本の定着を図る</li> <li>○文を読んだり書いたりするときには、主語と述語に注意することの徹底</li> <li>○基本的な計算技能について東京ベーシック等を活用と反復練習による定着</li> <li>○算数の文章問題をテープ図や線分図に表し、筋道を立てたり自分の考えを説明したりする学習場面を意図的に設定(タブレット端末を用いた児童同士の交流)</li> <li>○標準学力調査の個別分析と分析を生かした苦手問題の克服</li> </ul>		<p>【支援ツール】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「江戸川っ子study week!」の取組</li> <li>○デジタルドリル/東京ベーシックドリル/MEXCBTの活用</li> <li>○家庭学習推進のための取組</li> <li>○えどダブルルール、家庭ルール等</li> </ul>
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全国学力調査の質問用紙の「自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行っていましたか」肯定的な回答の割合70%以上</li> <li>○「先生の授業は分かりやすいと思う」肯定的な回答の割合70%以上</li> <li>○「授業の中で分かったことがあった時には、自分から進んで手をあげたり、発表したりしていますか」肯定的な回答の割合60%以上</li> <li>○発話中心の英語・外国語活動100%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全国学力調査質問用紙「授業の内容はよく分かりますか」肯定的な回答の割合85%以上</li> <li>○CD層(国・算) 50%以下</li> <li>○標準学力調査の向上的変容</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○全国学力調査質問用紙「ゲーム、SNS、動画視聴に関係する時間が2時間より少ない児童・生徒の割合60%以上</li> <li>○学校の授業時間以外の勉強時間1時間以上の回答割合70%以上</li> <li>○「江戸川っ子study week!」の取組目標到達率80%以上</li> </ul>	